



阿波高新聞

8月号
167号

編集
新聞・文芸部

新聞・文芸部員大募集!

私たちと一緒に阿波高新聞やオリジナル部誌を作ってみませんか。文章やイラストを書くのが好きな人、ぜひ新聞・文芸部に入部してください。待っています!
また、阿波高新聞で取り上げてほしい記事等がありましたら、顧問の佐藤先生までお知らせください。

こんにちは。新聞・文芸部です。
今月号は、先月「ラストダンス」を終えたダンス部の三年部長さんと、二年の新年部長さん、そして、瓜生田先生へのインタビューです。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

◎ダンス部へのインタビュー

ダンス部に聞いた! ダンスの魅力

今回は、ダンス部の皆さんにお話を伺いました。

Q 日ごろの練習で目標としていることは?

A 全身全霊 人に喜ばれるダンスを!

Q ダンスをしていて大変だと思うことは?

A 大人数のため配置を考えたり、手の位置や速度をそろえたり、構成や衣装を自分たちで一からしたりすることかな。あと、コーチがおらんけん、自分たちで振り付けを考えるのも結構大変...

Q ダンスをしていて楽しいと思うことは?

A やっぱりお客さんに見てもらいたいこと!

お客さんが笑顔になってくれたり、手拍子をしてくれたりしたら、もって嬉しい! それに、一年生は、二、三年生のダンスを見てダンス部に入部してくれたけん、それも嬉しかった。

Q 練習の休憩時間、皆さんはどのように過ごしていますか?

A えー(笑) 扇風機にあたりながら水飲んでー話しよる。筋トレとか。自分で自主練をする人もいます!

Q 今までで一番印象に残っている大会や、発表会は?

A 文化祭かな! 照明をあてて、アエルワもそうやけど大きな舞台で踊れることが楽しい! 近くで自分たちの知り合いが見てくれるっていふんも嬉しい! でも、どの、パフォーマンスも印象に残っています!

Q ダンスをしている上でやりがいを感じる時はどんなときですか?

A 見た後に感想を言ってくれたときかな。あと、さっきも言ったけどお客さんが笑顔になってくれたり、手拍子をしてくれたりしたときに「頑張ってたよかっつた。」と思います。

質問に答えてくださった井内ひか梨先輩をはじめとする先輩方、ありがとうございました。

次に、新体制となり、今のダンス部を仕切っている、二年生部長の森あかねさんにお話を伺いました。

Q ラストパフォーマンスをしての感想をお願いします。

A 雨が降っていたため、お客さんが来てくれるか不安でしたが、他の部活の人がテントを張ってくれたので、たくさんの方が見に来てくれました。今まで、コロナの影響でイベントがなくなり、悔しい思いをしてきたので開催できて、いい思い出になりました。

Q 二年生が仕切る立場になった今、特にどのようなことを頑張りたい

ですか?

A 「キープスマイリング 全身全霊 人に喜ばれるダンスを」という言葉を胸に、先輩が築いてくださった伝統を受け継いでいきたいです。

Q 目標は何ですか?

A 文化祭です。成功するように、日々練習しています。

Q 仕切る立場で何が一番大変ですか?

A 時間の配分や練習内容を自分たちで考えることです。

Q 三年生の先輩方から学んだことは何ですか?

A 自分たちが笑顔で踊ること、お客さんも笑顔になり、喜ばせることができるということ。先輩のように強くなりました。

次に、ダンス部一年生の佐藤優さん、元木侑実さんにお話を聞きました。

Q 今年の一年生のダンス部入部数は?

A 九人!

Q 七月三日に行われたラストパフォーマンスでの先輩方の姿を見て、どう思いましたか?

A 雨天にもかかわらず、大きく美しいダンスで観客を魅了していて、素敵だなと思いました。私も、ステージで先輩方のようなダンスができるように努力したいです。

ダンスを踊ることを心から楽しんでいるのが、見ている私たちにも伝わって、「こんな風に人に喜ばれるダンスができるようになりたい!」と思いました。

Q これからダンス部で何を頑張りたいですか?

A 部員同士で絆を深めて、どんなステージでも笑顔で踊れるように頑張ります。

見ている人がつい笑顔になって、元気になるようなダンスができるようにしていきたいです。また、ダンスを詳しく知らない人が見ても、カッコイイと思ってもらえるように頑張りたいです。

最後に、「ダンス部に入ろうか悩んでいる」あるいは、「これから入ってくる後輩」に向けて、ダンス部の魅力について話してもらいました。

「初心者でも、ダンスが好き、音楽が好き、人の前に立って踊りたいという人は、勇気を出して、私たちに声をかけてください。気軽に声をかけてくれたら嬉しいです! お待ちしています。」

ダンス部の皆さん、ありがとうございました。

◎瓜生田先生へのインタビュー

一年五組の副担任の瓜生田将矢先生にインタビューをさせていただきました。

Q 学生時代に陸上部に所属していたそうですが、一番の思い出は何ですか?

A 一番の思い出は、大学院生最後の年に、大会で自己ベストとリレー一位をとったことです。

一人で喜ぶよりもチームみんな喜びを分かち合えたことが、今でも一番心に残っています。

Q 最近ジエネレーションギャップを感じたことは?

A 最近の歌やアイドルがわからないことですかね。

韓国のアイドルなんていっぱいいてもわからないですよ(笑)。

僕らの高校時代は、VSTBが一番流行っていましたね。あっちゃんとか大島優子たちが一番人気でした。

Q 座右の銘は、ありますか?

A 座右の銘は、「努力した者が成功するとは限らない。しかし、成功する者は皆努力している。」です。

*この言葉を調べてみると、ベートーヴェンが残した名言だとわかりました。

他にも漫画「はじめの一步」に登場する鴨川ジムの会長鴨川源二の言葉としても有名です。

Q 最後に、何故教師になろうと思ったのですか?

A それは、自分が学生時代のことを思い返すと、いつも憧れていた先生を思い出すからです。

自分も教えた子どもたちの思い出に残れる先生になりたいと思ったので、先生を目指しました。

子どもたちから憧れてもらえるような先生になるためにこれからも頑張っていきたいです。

瓜生田先生ご協力ありがとうございました。

